

CWA NEWS



平成24年度交流会 ～今年も楽しいひと時を過ごすことができました～



交流会場の様子



フレッドさん

5月26日（土）の定期総会后、35名が参加し交流会を行いました。

12時から昼食会を兼ねた懇談のあと、交流部会のフレッド・ラーワーさんによる司会進行で始まりました。

冒頭、森山運営委員長からの挨拶のあと、交流部会の小川鉄次さん（千葉市立西小中台小学校長）から、ウィスコンシン州 Country View Elementary Schoolと西小中台小学校との交流状況についてスライドを使って報告がありました。

この交流はグローバルなコミュニケーション力を子供たちに身につけさせたいとの小川校長の熱い思いをCWAが仲立ちして実現したものです。東日本大震災に対し相手校からのお見舞いがきっかけとなって交流が進展し、子供たちだけでなく先生方や保護者も交流を楽しんでいるとのこと。今後は手紙だけでなく、ビデオレターでの学校紹介や学校全体での交流へとさらに夢は大きく膨らんでいます。

次に、交流部会長の阿部照夫さんから、昨年12月3日（土）に実施した「晩秋の養老溪谷、房総の小江戸・大多喜、行元寺をめぐる」バスツアーについて、スライドを交えて報告がありました。参加者は外国人を含め46名、本州で最も遅い紅葉の名所養老溪谷を中心に訪ねるツアーは朝から大粒の雨で大変なご苦労をされた



阿部 部会長



渡部 取締役

ものの、大多喜城での甲

胃姿に変身した参加者の楽しい様子、おそば、てんぷら、お寿司の純和風の昼食に舌鼓を打っている様子、クイズで盛り上がっているバスの中での様子がスライドで紹介され、皆和気藹々としたのも楽しそうでした。今年度のバス旅行が楽しみです。

最後に、習志野市にある社会人アメリカンフットボールチーム「オービックスーガールズ」がCWAの仲立ちにより、ウィスコンシン州に本拠地を置き、NFL常勝チームであるグリーンベイ・パッカーズを訪問したことの報告が、オービックスーガールズを運営する株式会社OFC取締役の渡部滋之さんからありました（詳細は次ページに掲載）。

なお、今年も交流会ではウィスコンシン州に因んだグッズ等を多数お買い上げいただきありがとうございました。売上金はCWAの活動費として活用させていただきます。

最後に一言付け加えますと、フレッド・ラーワーさんは地元ウィスコンシン州のグリーンベイ・パッカーズが取り上げられたことに感激し、その熱の入った司会ぶりで会場を大いに盛り上げたことを報告しておきます。



森山委員長



小川さん

オービックシーガルズが グリーンベイ・パッカーズを訪問

オービックシーガルズの運営会社
株式会社OFC取締役
渡部 滋之さん

オービックシーガルズについて

オービックシーガルズは、社会人アメリカンフットボールXリーグ（エックスリーグ）に所属するクラブチームで、習志野市茜浜の練習グラウンドを拠点として活動しています。

もともとは企業内チームとして発足しましたが、2002年にクラブチームとして独立、2003年から現在の習志野市へ拠点を移しました。クラブチーム化に伴い、日本一のチームを目指すと同時に、アメリカンフットボールも、野球やサッカーのように自立し、かつ、身近なスポーツとなるよう日々活動しています。

最も力を入れているのは習志野市を中心としたホームタウン活動です。小学校訪問、フラッグフットボール（簡易アメフト）教室の開催、地域イベントへの参加、QVCマリンフィールドでの試合開催など、地元千葉・習志野のにぎわいづくりに参加しながら、当チームを知っていただく活動を行っています。しかし、まだまだ工夫の必要があると感じていて、スポーツビジネスの本場でありアメリカンフットボールの母国のアメリカのプロチームを訪問して学びたいと、かねてより思っていました。



フィールドにおいて シートの下は天然芝

訪問に至った経緯

そうした折、千葉県とウィスコンシン州が官民で深い交流を図っていることを聞きました。ウィスコンシン州にあるグリーンベイ・パッカーズは、現在NFLに所属するチームの中では3番目に古く歴史のあるチームであり、NFLで唯一、一般市民が100%保有しているプロスポーツチームです。本拠地のグリーンベイ市は人口約10万人とNFLの中で最も小さいフランチャイズですが、パッカーズはリーグ最多となる12回の優勝を誇り、ウィスコンシン州はもちろん全米中に熱狂的なファンを持つ、NFLの中でも屈指の人気を誇るチームなのです。ご紹介の仲介をいただいた千葉・ウィスコンシン協会の森山茂男様、青木靖子様、ウィスコンシン・千葉委員会のケビン・クロフォード様のご尽力で、パッカーズからの訪問許可がおり、4月4日にオービックシーガルズのヘッドコーチ・大橋誠と、副将を務めるケビン・ジャクソン選手がパッカーズのオフィスがあるランボー・フィールドを訪問してきました。ハワイ大出身のジャクソン選手は、大学卒業後にルーキー・フリーエージェントとしてパッカーズのキャンプに招かれた経歴の持ち主です。

現地の状況

ランボー・フィールドでは、ファン・デベロップメント・マネジャー、スポンサーシップ・セールスチームの皆様、プレミアム・シート・セールスチームの皆様にお話を伺いました。



スタジアム内のレストランにて
手前の右がケビン・クロフォードさん

地域に根深く息づいているのを肌で感じました。

ファンを楽しませることが最優先であり、その認識が十分にチームに行き渡っていて目を見張りました。本場アメリカでも、今なお様々な工夫を行い、ファンへのアプローチを全力で行っているのです。

最後に

私たちにも、もっともっとできることがあると痛感しました。この訪問で、地域に密着する大切さをより一層認識し、アメリカンフットボールを通して、習志野市、千葉県に貢献して盛り上げていく努力をしていきたいという想いがさらに強まりました。最後に、この貴重な機会を与えてくださった皆様に、深く感謝いたします。

Wisconsin 千葉委員会の 宮崎久・文子ご夫妻、州知事から表彰

マディソン市在住の宮崎久・文子ご夫妻は、 Wisconsin 州及び千葉県のご友好使節団の派遣・受入れプログラムにも深くかかわるなど、長年にわたる民間人としての国際交流活動への取り組みが Wisconsin 州において高く評価され、昨年9月に、スコット・ウォーカー州知事より表彰を受けました。

ご夫妻に贈られた公式文書には、今回の表彰の理由として、州のボランティアによって「 Wisconsin 千葉委員会」が1990年に設立されて以来、教育・文化・科学・技術等の分野での交流を通して千葉県民と Wisconsin 州民との友情と相互理解の強い絆がつけられてきたこと、1999年には“ Wisconsin 州女性のつばさプログラム”が立ち上げられて女性の相互交流が促進されたこと、 Wisconsin 千葉委員会の理事として指導的役割を果たしてきたことなどが記されています。そして、ご夫妻のこれまでのご貢献を称え、「2011年9月24日を私、スコット・ウォーカーは Wisconsin 州の知事として、宮崎久・文子ご夫妻の日として宣言し、 Wisconsin 州民一同でこの日を祝う」と結んでいます。

今回の表彰にあたって、ご夫妻の喜びを CWA 会員の皆さんで共有することはもちろんですが、両県州の交流が民間人の熱心な活動によって支えられていることを改めて認識し、今後の励みとしたいと思います。



宮崎ご夫妻に贈られた州政府の公式文書



“友好使節団2010”の女性のつばさグループに随行する宮崎久氏(中央)と文子夫人(左端)

村上春樹が見たウィスコンシン州

ウィスコンシン州をイメージする時、TVドラマ「大草原の小さな家」の舞台として広く知られているように、高い山はなくほとんどが平地か丘陵で、四季折々の表情豊かな自然に恵まれた土地を連想する人が多いと思います。また、産業面では製紙業や産業機械などの工業も盛んなのですが、カリフォルニアと並ぶ全米を代表する酪農州として見なされています。チーズやミルク等の酪農製品の名産地としても知られており、俗にウィスコンシン州は人よりも牛が多いとよく言われているようですが、実際には人口約560万人に対し、牛は200万頭程度のです。



農村風景

このような土地柄のウィスコンシン州に作家の村上春樹さんがドライブに出かけ、その時の印象を「辺境・近境」という本でレポートしています。ドライブという制約もあって、道路から見える風景、食事したり宿泊したりするレストランやモーター、そしてラジオから流れてくる音楽やテレビのニュースなど限られた情報ではあるのですが、私たちがこれまで知り得たウィスコンシン州に関する情報とは一味違って、アメリカというものを感じさせる興味深い内容となっています。そこで、今回、本の中から抜粋してご紹介します。

なお、このドライブはカメラマンと二人で今から17～8年前に行われたもので、季節は不明ですが約2週間をかけて北回り（ボストンからロスアンゼルスまで）のコースでアメリカ大陸横断をした時のものであり、ウィスコンシン州内のコースはシカゴからミルウォーキー辺りまで北上し、その後一般道で西進したようです。

また、記述内容からすると隣のアイオワ州のことも含んだ内容となっていることを予めお断りしておきます。

●ウィスコンシン州に入って、まずラジオから聞こえてきた音楽やテレビニュース

（まず車のラジオから流れる音楽の種類ががらりと変わってくる。カントリー・ミュージックのステーションが圧倒的に多くなり、ジャズやラップ・ミュージックはどれだけカー・ステレオのサーチボタンを押しても聴こえてこない。）

（テレビの朝のニュースをつけると、「今日の家畜の値段」を延々と聞かされる。何々種の何歳牛の値段がいくらで、何々種の豚一頭の値段がいくらでということ、ニュースキャスターが淡々と読み上げる。）

（夜テレビをつけると、カントリー・ダンス大会をよくやっていた。カウボーイハットをかぶった沢山の男たちが派手めのお姉さんたちと、カントリー音楽にあわせて楽しそうに踊っている。）

2Pに出てきた地名の場所と4Pのドライブコース



※ドライブコースは、本の中の地図を参考に類推しました。

●車の窓から見える風景

（車の窓の外に見える光景は、牧場と農場とときおりの看板だけだ。どこまでいっても、それ以外ほとんど何も目に映らない。）

（農家はみんな、だいたい同じかっこうをしている。正面に大きな納屋があり、サイロがあり、長い柵の中には牛がいっぱいいる。）

（そんな光景が毎日車を飛ばしても、いつ果てるともなく永遠に続くのだ。まるで前に見た牛が先回りしてまた僕らを待っているという錯覚に襲われる。）

●レストランとモーター

（レストランもモーターも、あまりにも無個性に似通っているので、そのうちにどれがどれだったかほとんど区別がなくなってくる。）

内容に興味を持たれた方は、是非「辺境・近境」（村上春樹著）の「アメリカ大陸を横断しよう」の章を読んでみてください。

※〈 〉内が本から抜粋して引用したものです。

平成24年度理事会



5月22日(火)、京成ホテルミラマーレ(千葉市)で、平成24年度理事会が理事10名、監事2名他の出席のもとに開催されました。

茂木友三郎会長からの挨拶の中で、「我々を取り巻く環境は、大変不透明な状況にあるが、千葉県とウィスコンシン州の交流が円滑に進むように皆様には是非ご尽力いただきたい」、「昨年度震災で延期になっていたウィスコンシン州からの友好使節団の受入れを今年は実施する予定」と発言がありました。

理事会では、「平成23年度の事業報告及び収入・支出決算」、「平成24年度の事業計画(案)及び収入・支出予算(案)」及び「理事・監事の選任(案)について」の5議案について審議され、全て5月26日に開催される総会に付議されることになりました。

その後、運営委員会から千葉県とウィスコンシン州との交流状況についての報告が行われ、理事の意見交換では、若い時期に経験する異文化交流の重要性、ビジネスにおけるグローバル化など活発な意見が出されました。

平成24年度定期総会

5月26日(土)、ホテルプラザ菜の花(千葉市)において、平成24年度定期総会が開催され、30名の正会員が出席しました(委任状提出は61通)。

冒頭で、石井常務理事から挨拶があり、「今年度活発な交流が展開されることを期待している」と述べました。

その後、会員の鹿島春海さんを議長として、平成23年度の事業報告及び収入・支出決算、平成24年度の事業計画(案)及び収入・支出予算(案)、理事・監事の選任(案)について審議が行われ、全て承認されました。



平成24年度事業計画

[事業方針]

前年度までの事業実績をもとに、さらに多くの方にウィスコンシン州の魅力を知っていただけるよう、各分野の事業内容のより一層の充実を図ってまいります。

[事業内容]

1. 定例会の開催

- 理事会、総会 各1回
- 運営委員会 原則として毎月第二土曜日に開催

2. ウィスコンシン州友好使節団の受入

- 受入時期: 平成24年9月22日(土)～9月29日(土)
- 受入団員数: 20名

3. 会員等交流事業の実施

- 交流会
- バスツアー等

4. CWAの活動及びウィスコンシン州に関する広報事業

- CWA NEWSの発行(3回)とCWAホームページによる各種情報提供
- 情報収集及び各種イベントへの参加

平成24年度 収入・支出予算

1 収入の部

単位：千円

科 目	24年度(A)	23年度(B)	A-B	備 考
会 費	680	690	△10	
補 助 金	1,200	1,330	△130	
県運営費補助	200	200	0	
県事業費補助	1,000	1,130	△130	
交流事業等 参 加 費	455	450	5	交流事業等参加費
繰 越 金	974	301	673	
計	3,309	2,771	538	

2 支出の部

単位：千円

科 目	24年度(A)	23年度(B)	A-B	備 考
運 営 費	250	250	0	印刷費、消耗品費等
事 業 費	2,670	2,450	220	
会 議 費	200	200	0	理事会、総会
友好使節団派遣・受入事業	1,650	1,500	150	友好使節団受入費用 受入報告書
会員等交流事業	470	400	70	交流会経費
広 報 事 業	350	350	0	CWA NEWSの発行
予 備 費	389	71	318	
計	3,309	2,771	538	

平成24年度千葉ウイスコンシン協会の運営ボランティア

【運営スタッフ】

派遣・受入部会	会員等交流部会	広 報 部 会	事 務 局
(アドバイザー)(事務局長) 林 和也 青木 靖子 安藤 忠男 (委員長) 浅沼 明夫 森山 茂男 大浦 京子 加瀬 亮二	阿部 照夫 小川 鉄次 角田トミ子 フレッド・ラーワー 三橋さなえ	(副委員長) 大原美保子 石井 崇子 宮崎 忠夫 山崎 静江	西織 哲大 慶児 聡子

【イベントスタッフ】

伊藤 尚志 中島 雅子 榊田 直美 広瀬 紀子 鈴木 美加 山崎 重子

今年にかける思い

●青木派遣・受入部会長

震災・原発事故で延びた受け入れは今年9月22～29日と決まりました。文化・芸術グループは、茂木会長の故郷、キッコーマンの町・野田市で交流を行います。野田市では市民主体で素晴らしい準備が着々と進められています。パイオマス、女性のつばさグループ共々有意義で思い出に残る交流が行われるよう部会挙げて準備を行っている所です。

●阿部会員等交流部会長

「会員等交流部会」の本年度の初仕事は、5月26日、千葉県庁近くの「プラザ菜の花」で開催されたCWA総会後の昼食会を兼ねた「会員交流会」を取り仕切ることでした。あと一つは、12月1日(土)に予定している「鴨川と安房小湊」方面へのバス旅行を実施することです。会員の皆さん、多数の参加を期待しています。

●宮崎広報部会長

CWANewsの発行やホームページ等を通じて、一人でも多くの方にウイスコンシン州を知っていただきCWAに関心を持っていただけるよう、部会員一丸となって努力していきたいと思っています。そして、CWA会員の増加に向けて貢献してまいりたいと考えています。

CWA 入会のご案内

【会 費】

- 1 個人会員 2,000円
- 2 団体会員 10,000円
- 3 賛助会員 20,000円(1口)(※何口でも可)

【事業内容】

- 1 ウイスコンシン州との姉妹交流事業(派遣・受入)
- 2 会員等交流事業
- 3 ウイスコンシン州に関する情報収集とその発信
- 4 地域の国際交流事業への参加

【特 典】

- ☆ 会報(CWA NEWS)の発行
- ☆ ウイスコンシン州との交流イベントの企画運営に参加
- ☆ 交流イベントのご案内
- ☆ ウイスコンシン州内の団体等との交流をバックアップ

【会費納入方法】

銀行振込(ゆうちょ銀行・千葉銀行)または郵便振替
※詳しくは下記までお問い合わせください。

【お問い合わせ先】

電話 043-223-2398(千葉県総合企画部国際課)

【編集後記】

秋のアメリカ大統領選を占うと言われたウイスコンシン州の知事リコール選は、現職のスコット・ウォーカー知事が接戦を制しました。財政再建を掲げる知事の今後の動向が注目される所です。CWAの運営スタッフは新年度に入り多少メンバーチェンジをしました。引き続き皆様のご支援をお願いします。

発行所：千葉ウイスコンシン協会

発行人：森山茂男 編集：広報部会

<http://www.chiba-wisconsin.jp/>

〒261-7114 千葉市美浜区中瀬2-6 WBGマリブイースト14階

(財)ちば国際コンベンションビューロー内

*電話でのお問い合わせ ☎043-223-2394(千葉県国際課)